

○「ワークショップ方式で溝谷校区の農地・農業を考える話し合いを实践を予定」

(京都市京丹後市弥栄町地区連絡会議)(令和元年12月)(第12回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年12月9日 午後7時30分~9時
- 場 所: 弥栄地域公民館
- 出席者: 農業委員2人、最適化推進委員3人
委員以外: 一人(欠席 農業委員1名・
最適化推進委員1名)
- 報告者: 石嶋政博 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

- 竹野川を挟んで東西に水田が広がる
- 水田では水稻中心農業、里山エリアで国営開発畑で加工用野菜の栽培が行われている

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 農業委員会定例会の審議案件の概要報告と運営委員会での形状変更届の要綱案について内容報告
- 和田野地区の形状変更届出に関して現地立ち合いの報告と完了後の耕作確認の依頼
- 農地情報連絡調整会議で丹後地区定例会の下宇川地域の話し合い活動で危機感が薄いとの感想紹介
- テーマ別意見交換会と南あわじ市農業委員会への先進地研修会の概要報告
- JA京都の会長との意見要請会議に出席した委員より、儲かる農業についての回答があったとの紹介
- 吉野校区の話し合い活動の今後の再検討と新たに溝谷校区3集落で同様の手法を实践する予定の報告
-

4 活動結果

- 情報・意見交換 **1.5** 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援